

いざ! 江戸街道
プロジェクト

伍の巻

甲州街道篇



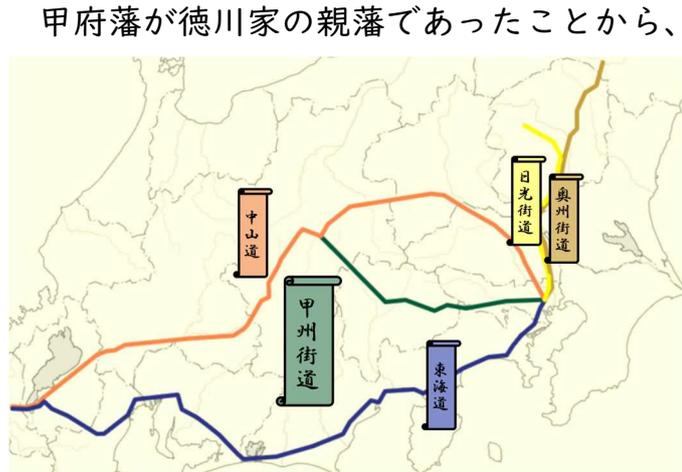
関東運輸局

Kanto District Transport Bureau



人 甲州街道ってどんな道？

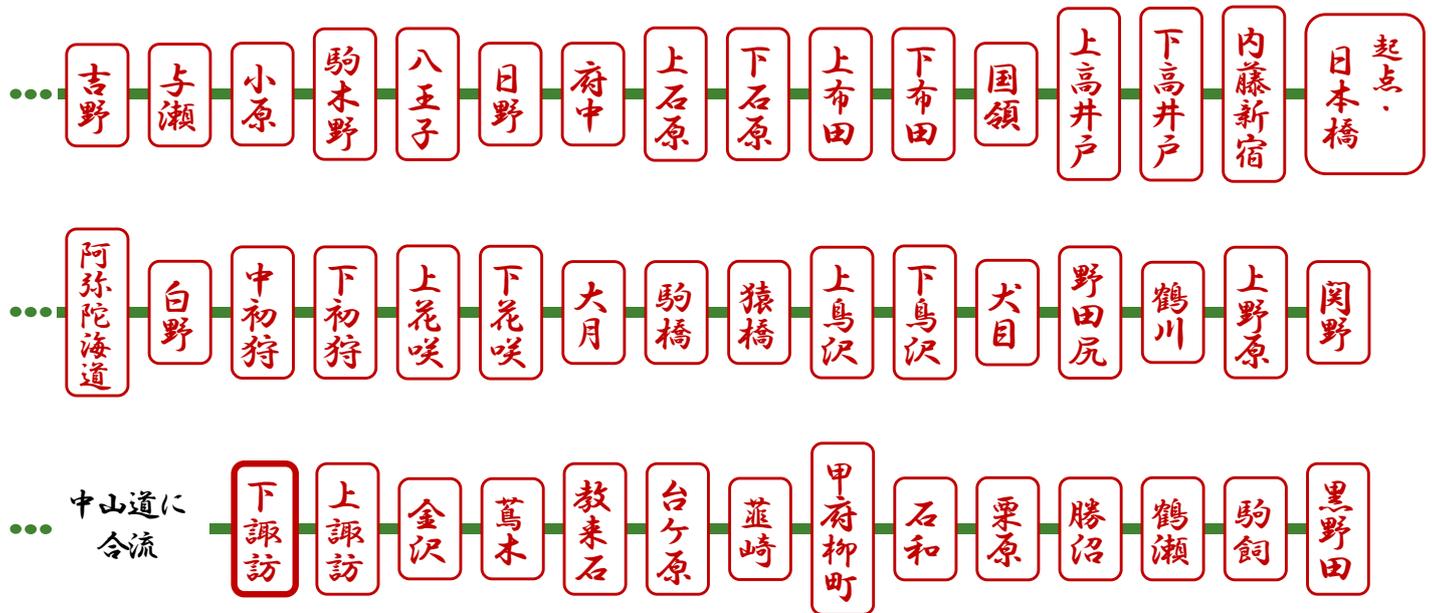
甲州街道は日本橋を發ち、八王子、甲府を経て、その先の信濃国・下諏訪宿で中山道へと合流するまで、45宿場が置かれた、約205kmの街道です。



江戸城と甲府城を結び有事の際に將軍家を退避させるための軍用道路として整備されたと言われており、やがて信州や甲州の農産品などを江戸に送り届ける生活の大動脈として、発展を遂げていきました。駒木野～小原間にあり、高尾山方面との分かれ道となる小仏峠は、甲州街道随一の難所として知られています。

山梨県内では甲府盆地と呼ばれる地形を生かし、ぶどうやももの栽培が盛んに行われています。また、ほうとうやおつけだんごなど、小麦を主食とした独自の食文化も発達し、郷土料理として親しまれています。

人 宿場一覧 (広域関東エリア)



人 その歴史、さまざまなり

新選組のふるさと日野

幕末に活躍し、今も歴史ファンに根強く愛される新選組。日野は「鬼の副長」として知られる土方歳三や、六番隊長の井上源三郎などの出身地で、近藤勇や沖田総司などの中心メンバーも日野で剣術の稽古に励み、やがて京都へと上ったと言われています。日野宿周辺には今も新選組ゆかりの史跡が多く残されており、新選組を活用した町おこしイベントも多く開催されています。



ひの新選組まつりの様子
撮影：井上博司 提供：日野市

お茶壺道中

京都・宇治から江戸に將軍家御用達のお茶を献上するための行列、お茶壺道中。当時、將軍家に献上するお茶はとても権威があり、大名行列でさえもお茶壺道中の前では籠や馬から降り、道を譲らなければならないほどでした。江戸を出発した行列は東海道を通過して宇治でお茶を調達し、帰りはお茶の大敵である暑さや湿気を避けるために中山道から甲州街道へ入り、途中の谷村勝山城（現在の山梨県都留市）でお茶をいったん預け、その後江戸へと戻るルートを通っていたとされています。



現在の勝山城跡 提供：都留市

甲州街道沿いの観光コンテンツ (一例)

八王子

甲州街道イチョウ並木



提供：八王子観光コンベンション協会

大正天皇の多摩陵（たまのみさぎ）造営を記念して、昭和4年に植えられた763本のイチョウが街道沿いに立ち並び、美しい葉の色が道行く人々の目を楽させています。

小原

小原宿本陣



提供：相模湖観光協会

神奈川県内で唯一、建物が現存する本陣（参勤交代の際に大名が寝泊まりする宿）。毎年11月3日には小原宿本陣祭りが開催され、大名行列や火縄銃演武の披露が行われます。

猿橋

甲斐の猿橋



提供：大月市観光協会

山梨県と神奈川県を流れる桂川にまたがる、「日本三大奇橋」の一つとして知られる橋です。橋脚を一切使わず、岸から張り出させた木を重ねることで建っているのが特徴です。

石和

石和温泉郷



提供：石和温泉旅館協同組合

山梨県で最大の規模を誇る温泉郷。1961年、ぶどう園から温泉が湧きだして川に流れだしたことから「青空温泉」が人気を博し、やがて温泉地としての発展を遂げるようになりました。

甲府柳町

甲州夢小路



提供：関たんざわ

明治・大正・昭和初期の甲府城下町を再現したショッピングエリア。古民家や蔵などを取り入れた店舗が立ち並び、レトロな雰囲気で購入を楽しむことができます。

下諏訪

下諏訪温泉



提供：下諏訪温泉旅館組合

中山道との合流地で、温泉が湧き出る宿場町として栄えた下諏訪。旅館、日帰り温泉、共同浴場など様々なタイプの施設が点在し、気軽に温泉巡りが楽しめます。

ご当地グルメも盛りだくさん！

八王子

八王子ラーメン



©Hachioji City (licensed underCC BY 4.0)

小原

相模ダムカレー



提供：相模湖観光協会

大月

木の实厚焼き煎餅



提供：大月市観光協会

勝沼

甲州ワイン



提供：甲州市移住支援ポータルサイト 甲州らいふ

実際に行われている街道観光の取り組み



甲州街道御宿場印プロジェクト

八王子市の印刷会社・㈱清水工房が主催となり、甲州街道沿線の観光協会などと連携しながら各地で全34種（合宿含む）が販売されています。「御朱印」のように「御宿場印」を集めながら宿場町を巡る旅を楽しんでもらうことで、地域経済の活性化を目指しています。



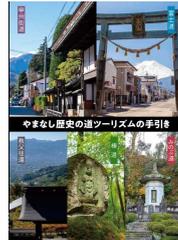
提供：㈱清水工房



やまなし歴史の道ツーリズム

山梨県内には甲州街道のほか、富士道、秩父往還、棒道、みのぶ道など、古くから続く歴史の道があります。山梨県ではこれらの道を最大限に観光活用し、県内の観光消費拡大や文化資源の活用・保全を目的とした「やまなし歴史の道ツーリズム」を推進しています。

スマホ版ガイド



提供：山梨県



北杜市歴史の道 甲州街道・棒道ガイドマップ

山梨県北杜市のDMO・ハケ岳ツーリズムマネジメントでは、市内の甲州街道の宿場であった台ヶ原宿周辺と、ハケ岳山麓を長野県諏訪方面に抜ける武田信玄ゆかりの「棒道」沿いにある観光コンテンツをまとめたマップを作成し、街道観光振興を推進しています。



提供：ハケ岳ツーリズムマネジメント

人 主役は地域の皆様です！

「地域の魅力をもっと発信したい！」「地域に活気を取り戻したい！」江戸街道プロジェクトは、そんな皆様の想いに応えていきます。

自治体の枠を超えて繋がる“道”。そこには歴史や文化、自然、食、温泉など、魅力的な観光資源が点在し、旅行者と地域、そして人々の心を繋いでいます。このプロジェクトは、地域の皆様に街道観光を推進していただくことを目的としており、関東運輸局はその活動の道標をお示しできるよう、取り組んで参ります。

人 有識者のひとこと



足立成和信用金庫 理事長
土屋 武司 氏

江戸街道沿いには豊富な地域資源・魅力が存在して（眠って）います。コロナ禍からの脱却が進む今、こうした資源や魅力にスポットをあて、地域に活力を取り戻す取組がもっと積極的に行われるべきなのではないでしょうか？

地域に新たな観光資源を創出するためには、地域が一つに繋がり、新しい地域経済の好循環を生み出す流れをしっかりと作（創）る必要があります。地域の繋がりとして「道」の繋がりを通じた「江戸街道プロジェクト」に参画頂き、是非、皆さんで地域活性化に向け「訪れてみたい街」・「また訪れたい街」を増やして行きましょう。

人 江戸街道プロジェクトとは

江戸時代の創成期に徳川家康が交通の要所として整備に取り組んだ、日本橋を起点とする「東海道」「甲州街道」「中山道」「日光街道」「奥州街道」の通称“五街道”と、その“脇往還”として整備された「水戸街道」や「成田街道」など。

関東運輸局では、これらを含めた広域関東エリア*1の街道沿いに散らばる魅力的なコンテンツを、『江戸街道』という統一テーマにより新たにブランディングをはかります。

本プロジェクトは、官民一体となって広域関東の魅力国内外へ発信し、コロナ禍で疲弊した地域に元気を取り戻すための新しい試みです。

*1 福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県の1都10県



◆ロゴマーク

街道ブランドによりこれからも様々な歴史を結ぶことを象徴的に表現するため、濃い色から広がる5色のラインは、地域それぞれの特色ある営みが詰まった歴史を未来に向け発展していく姿をイメージし、円環の2色は広域関東の海、山等の豊富な自然を表すデザインとしました。



リンク

プロジェクトHP



YouTube
(シンポジウム映像)



関東運輸局
Facebook



表紙写真：相模湖観光協会 提供「小原宿本陣」
製作：国土交通省 関東運輸局 観光部